

もっと身近にオーストリア
レクチャー
コンサート

滋賀大学
創立 70 周年記念事業
日本—オーストリア
修好 150 周年記念事業



オーストリア 音楽への誘い

2019.11月
22日 金

日本語通訳付き

開演 18:00 (開場 17:30)

終演 20:00 (予定)

入場 無料 (事前申込不要)

定員 100 名 (全席自由)

場所 FIGARO ホール

〒520-0837

滋賀県大津市中庄1丁目16-14

<https://www.figaro-hall.com/access/>



[お問い合わせ]
滋賀大学産学公連携推進課
TEL. 0749-27-1279

出演



Ingomar Rainer
インゴマー・ライナー (チェンバロ)
ウィーン国立音楽大学教授、京都市立芸術大学客員教授



Jocelyne Gibert-Rainer
ジョスリンヌ・ライナー (ヴァイオリン)
ウィーン国立音楽大学教員

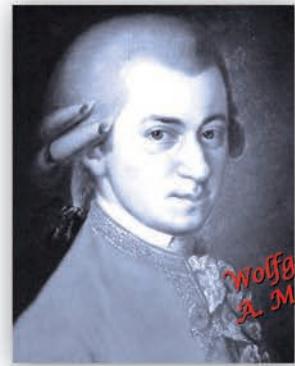


Yoshimi Oshima
大嶋義実 (フルート)
京都市立芸術大学副学長・教授



Programm

Austrian Music of Three Centuries ～オーストリア音楽への誘い～



- Wolfgang A. Mozart (1756-1791)
ヴォルフガング・アマデウス・モーツアルト

Sonata für Klavier und Floete, C dur KV14
(クラヴィーアとフルートのためのソナタ ハ長調 KV 14)

- Heinrich Ignaz Franz Biber (1644-1704)
ハイインリッヒ・イグナツ・フランツ・ビーバー

Sonata I "Die Verkündigung" (Annunciatio) aus den
"Mysteriensonaten" zum Rosenkranz (「ロザリオのソナタ」より受胎告知)

Praeludium
Variatio (Aria)
Finale



- Johann Heinrich Schmelzer (ca 1623-1680)
ヨハン・ハイインリヒ・シュメルツァー

Sonata IV in D aus den Sonatae unarum fidium (1662)
(ヴァイオリンソナタ第4番 ニ長調)



- Cesar Bresgen (1913-1988)
ツェザール・ブレスゲン

2 Fantasien über Themen von J.S. Bach (1984) für Violine solo
(無伴奏ヴァイオリンのための、バッハのテーマによる幻想曲)

I Sostenuto
II Allegro

- Anton Heiller (1923-1979)
アントン・ハイラー

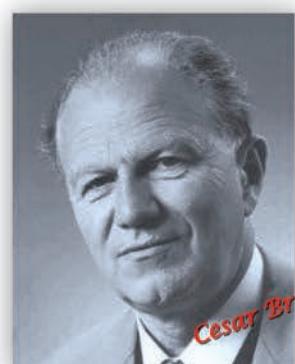
"Ein wenig über B-A-C-H" 3 kleine Stücke für Cembalo (1975)
(バッハについて少し…チェンバロのための3つの小品)

Vorspiel
Tanz
Nachspiel

- Wolfgang A. Mozart (1756-1791)
ヴォルフガング・アマデウス・モーツアルト

Sonate in C op.2/2 KV 296 (1778) für Vl. und Klav.
(ヴァイオリンとクラヴィーアのためのソナタ ハ長調)

Allegro
Andante sostenuto
Rodeau/Allegro



知られざるオーストリア音楽の魅力

2019年、日本とオーストリアは外交関係を結び 150 年を迎えました。明治維新の直後から私たちは共に友情を育んできたことになります。

そのオーストリアの首都ウィーンは音楽の都としてつとに有名です。ウィーンに住みウィーンで活躍したモーツアルト、ベートーヴェン、シューベルト、こうした大作曲家の名を聞いたことのない日本人はないのではないでしょうか。

でも、フランツ・ビーバーやヨハン・シュメルツァーといったバロック時代にオーストリアで大活躍していた作曲家たちの名前を知る人は少ないようです。そしてなにより、20世紀になってもオーストリアでは次々と新しい音楽が生み出されてきました。

このコンサートではウィーン国立音楽大学ライナー教授の案内のもと、オーストリアの知られざる音楽の魅力をバロック、古典、現代の300年に渡り探っていきます。もちろんモーツアルトもお楽しみください。(大嶋義実)

